

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 アリルアルコールのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号 No. 2002-生28

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： アリルアルコール
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間目に試験液の全量を交換、密閉容器使用)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48 時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6, 10 mg/L
公比 ; 1.8
- 6) 試験液量： 100 mL/容器
- 7) 連数： 4 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1 ℃
- 10) 照明： 室内光、16時間明/8時間暗
- 11) pH： 試験液の pH調整は行わない
- 12) 分析法： GC-MS法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の濃度は換水前後の測定値を用いて幾何平均値を求め、各影響濃度を算出した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 3.20 mg/L (95%信頼区間 : 2.80 ~ 3.67 mg/L), Probit
0 % 阻害最高濃度 : 1.69 mg/L
100%阻害最低濃度 : 5.19 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 2.05 mg/L (95%信頼区間 : 1.74 ~ 2.39 mg/L), Probit
0 % 阻害最高濃度 : 0.858 mg/L
100%阻害最低濃度 : 5.19 mg/L